

令和7年度 学校案内
Koshi High School Guide 2025

高志

令和7年4月に高志高等学校入学を希望するみなさんへ



高志高校は、生徒の「やりたい!」「なりたい!」を応援します

本校は、1948年の開校以来、県内有数の進学校として歩んできました。

これまで、「SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業」（R5年度から第V期「先導的改革型」指定校）、「SGH（スーパーグローバルハイスクール）事業」（平成26～30年度指定）等の文部科学省のプロジェクトに参加し、大学や企業・研究機関等と連携して、課題研究をはじめとした探究的な学習を推進して、様々な分野で国際社会・地域社会のリーダーとして活躍できる人の育成に取り組んできました。

本校は高志中学校を併設しています。年齢差最大5歳の異なる学年が集い、多様な人たちが切磋琢磨しながら、刺激あふれる学校生活を送っています。選択型研修旅行や進学型単位制教育課程なども、本校の特長です。すべての生徒が「探究創造科」（2・3年次は「理数創造科」「人文創造科」）で「探究」と「創造」の学びに取り組んでいます。

本校は、様々な特色ある教育活動を通して、生徒一人ひとりの夢の実現、進路希望の実現を支援します。

校訓

克己 創造 敬愛

教育方針

国際社会および地域社会のリーダーとして貢献できる、知徳体の調和のとれた人材の育成

海外で学ぶ生徒たち



私がカナダ留学で学んだこと

2年 真崎 志菜

【カナダ ノースバンクーバー／2022年8月～2023年6月】

私は2022年の夏から1年間カナダのノースバンクーバーに留学をしました。留学の目的は英語力の向上です。私が留学をして学んだことは挑戦することと諦めないことの大切さです。カナダに渡航して間もない頃は自分の英語が相手に伝わるか不安で、話しかける前に何度も脳内でシミュレーションをしていました。思い切って話しかけてみてうまく会話ができた時の喜びと感動は今でもはっきりと覚えています。時には困難もありました。私の通っていたカナダの学校は世界中から留学生が集まるインターナショナルスクールです。文化や歴史、価値観の違いから会話が噛み合わなかったことは少なくはありません。そこで諦めず、表現方法を変えてみたり、ジェスチャーや写真を用いたりしてお互いの認識が合致したときはとても嬉しかったです。留学は私に多くの挑戦の機会と良い出会いを与えてくれました。



海外で学んで考えたこと

2年 西尾 地博

【イギリス UWCアトランティック／2023年8月～2025年7月予定】

海外に来て考えたことは、ここで学んだことは日本で学んだこととベクトルが全く違うということです。外国人と話すとき視野は広がりますが、その分初歩的な部分で意見の相違があるので、本質的な違いに気づけなかったり、気づくのが遅れたりします。また、意思表示の大切さを海外で痛感するとともに、自主性は協調性の裏返しだということを強く感じます。こちらでは国民性の違いを感じ戸惑うこともありますが、イベントを開けば多くの人に来てくれ、積極的に発言してくれます。海外に来たら困り、疲れることばかりですが、それはきっと退屈の対極にあるものだと思います。だから僕は海外に来て良かったと思っています。



海外に行って学びたいこと

2年 ハウカ 瑛美里

【カナダ Pearson College UWC／2024年9月～2026年3月予定】

私が海外で学びたいことは、国際関係や異文化理解、そして多様な価値観です。私が今年の夏から進学する学校はユナイテッド・ワールド・カレッジ(UWC)というインターナショナルスクールです。UWCとは世界各国から選抜された高校生を受け入れ、教育を通じて国際感覚豊かな人材を育成することを目的とする国際的な民間教育機関です。現在世界で18校あり、私はその中でもカナダのピアソン・カレッジへの派遣が決まりました。

私は将来、国際弁護士になり国際社会で活躍したいという夢を持っています。UWCでの2年間のカリキュラムを通して論理的思考力、判断力、表現力を伸ばし、世界各国の仲間との生活を通して多様な価値観を得て、将来の目標や夢につなげていきたいです。また、UWCでの活動を通して、自分の信念を追究し、自信をもって行動ができる人間に成長したいです。



留学に向けての抱負

3年 佐々木 啓予

【インドネシア SMA Labschool Cibubur／2024年7月～2025年5月予定】

私の留学先を見た皆さんは、おそらく「インドネシア?!」と驚いたことでしょう。インドネシアは英語圏ではないため、私の留学はみなさんが想像する語学留学ではなく異文化交流を目的にしたものです。

私が留学を決めたのは、自分の進路実現に向けて考えたことがきっかけです。私は昔からアジアの国々に興味があったことに加え、日本以外の教育に興味を持ち、留学を志しました。慣れた環境から離れ、客観的に様々な物事に目を向けることや、実際にその現地の教育を体験することが重要だと考えました。

留学中はホームステイをする予定で、ファミリーとの関わりやホストスクールでの学習も楽しみたいと考えています。また、5年間続けてきた弓道を始めた日本の文化もインドネシアの方々に発信し、私自身の魅力はもちろん日本の魅力を知ってもらえるようにしたいです。



留学をスタートさせて感じたこと

2年 Nathan Connors

【ニュージーランド出身／2024年4月～2025年1月予定】

ニュージーランドから高志高校に留学してきました。ニュージーランドと日本の高校生活には違いが多いですが、クラスメートや先生はみんな優しく、よく助けてくれます。日本の文化や言語を学ぶことが楽しくて、高志での学校生活が楽しいです。留学生活を実際に経験してみると、留学前の期待を超える素晴らしいものだと感じています。高志高校は忙しく、時に難しいですが、充実感があり、授業や部活動、文化祭などたくさんイベントがあります。その中で自分の興味や才能を伸ばす機会がたくさんあると思います。これからも高志高校で日々成長していきたいです。

学校行事・ 生徒会活動

人とのつながりの中で、 豊かな社会性と人間性を育てる

高志高校の生徒は、学校行事や生徒会活動、部活動等における友人や先輩、後輩とのつながりの中で、人として成長していきます。中1から高3という幅広い年齢集団で、学校行事や生徒会活動に取り組んでいます。

文化祭・体育祭をはじめとする高志高校の多彩な学校行事は、生徒の手によって企画・運営され、大変な盛り上がりを見せます。行事の一つひとつが貴重な体験、大切な思い出となります。

おもな学校行事

4月 入学式・対面式
生徒大会



5月 前期中間考査①
春季遠足・体力テスト



6月 春季高校総体・卒業生と語る会
合唱コンクール・前期中間考査②



7月 生徒研究活動発表会・オープンスクール
高志の学びフェア



8月 学校祭



9月 生徒会役員選挙
前期期末考査



10月 選択型研修旅行・秋季遠足
生徒大会・体育小会



11月 新人大会
後期中間考査



12月 体育小会



1月 単元テスト



2月 生徒会役員選挙
高校入試・学年末考査



3月 卒業式



「進学型単位制教育課程」で
確かな学力・多様な進路実現を

大学入学共通テスト等を念頭に置き、多様な選択を可能にする学校設定科目があります。例えば、英語では、能力や取得している資格等に応じて、英語活用AE (Advanced Expression)、RP (Research & Presentation)、DD (Debate & Discussion) などの選択科目を受講することができます。

高志高校の探究創造科で、自分で決めた課題を研究し、将来の夢に近づいていけることに楽しみを感じています。これからの貴重な三年間。一日一日を大切に生きて過ごしていきたいです。

卒業後の 進路

高い志を持ち、 将来の夢・目標を実現する

本校は、各教科の授業だけでなく、課外・特別講座や個別指導等を通して、一人ひとりが自分の将来像を描き、それを実現していくための環境を提供します。

大学合格者数一覧

[国公立大学]

大学名	R6	R5	R4	R3
北海道大	5		1	4
東北大	2	3		2
東京大	2	7	5	10
富山大	12	8	12	11
金沢大	25	19	26	25
福井大	27	30	37	24
名古屋大	5	1	5	9
京都大	6	7	5	4
大阪大	5	7	9	9
神戸大	5	4	7	16
九州大	2	1		1
東京都立大		2		
福井県立大	10	9	9	10
その他の国公立大学	75	68	73	54
国公立大学計	181	166	189	179

[私立大学]

大学名	R6	R5	R4	R3
青山学院大	2	3	3	3
慶應義塾大	1	6	7	4
上智大	1	5	4	1
中央大	5	3	8	6
東京理科大	4	8	3	5
法政大	1	6		2
明治大	16	9	5	7
立教大	4	1	8	2
早稲田大	9	13	11	11
同志社大	32	33	17	27
立命館大	68	45	70	86
関西大	14	18	13	18
関西学院大	17	16	8	15
その他の私立大学	281	255	216	258
私立大学計	455	421	373	445

[海外の大学]

大学名	R6	R5	R4	R3
イリノイ大	0	1	0	0
オハイオ州立大	0	1	0	0
オハイオ大	0	1	0	0
海外の大学計	0	3	0	0



自習室

卒業生からのメッセージ



山本 まどか
光陽中学校出身
(令和6年3月卒)

北海道大学 医学部 保健学科

高志高校の魅力は、個性豊かな仲間と一緒に充実した学校生活を送れることです。部活動や学校行事ではクラスや学年問わず、色々な視点からのアドバイスや意見を言い合うことができます。また、先生方はとてもフレンドリーで頼りになり、進路や学習、部活動などで不安を抱えた時、すぐに相談に乗ってくれます。高志高校に入学したら友達や仲間と共に、かけがえのない学校生活を過ごせるでしょう。



宇野 礼哉
明倫中学校出身
(令和6年3月卒)

金沢大学 医薬保健学域 医学類

高志高校の魅力は、学習以外のことに全力で取り組めるところです。文武両道に励む生徒が多く、学習が忙しい中でも部活動や学校行事に全力で取り組むことができます。高志高校に入れば、素晴らしい仲間と切磋琢磨し、様々なことに全力で取り組むことができます。また、先生方のサポートも手厚く、生徒の質問や相談には親身になって応えてくれます。皆さんも、高志高校の恵まれた仲間や環境の中で、充実した3年間を送ってください。



前田 向葵
進明中学校出身
(令和6年3月卒)

大阪大学 外国語学部

高志高校の魅力は、先生方が熱心に生徒に向き合ってくれることです。授業で分からなかったところを個別に丁寧に教えてくださったり、学習と部活動の両立に悩んでいたときに、親身に相談に乗ってくださったりします。そのような先生と出会ったことで、第一志望校への希望を持続することができ、合格に繋がったと思っています。また、内進生、高入生という垣根をこえて、学習においても部活動においても、生徒同士で高め合える雰囲気があり、仲間から刺激を受けることができました。

ぜひ、みなさんも高志高校で素敵な先生や仲間と出会って、充実した高校生活を送って欲しいと思います。



木村 柊斗
足羽第一中学校出身
(令和6年3月卒)

神戸大学 経営学部

高志高校の魅力を一言で表すならば、「多様性」だと思います。学習が好きな人、スポーツや文化活動に打ちこんでいる人、性格が外向的な人、内向的な人と様々な人がいるし、高志中学校からの内進生もいます。そんなユニークな生徒たちと交流することで、新たな可能性を感じることができます。また、先生方は生徒一人一人をよく見て、学習面でも生活面でも寄り添って対応して下さいます。やる気があれば努力できる環境がそろっているの、大学進学を目指す人はぜひ入学してください。

部活動

「学習も、部活動も」の高校生活を送る

本校では、多くの生徒がしっかりと学習に取り組みながら、興味・関心のある部で活動しています。文化部・運動部とも各種大会で良い成績を収めています。

[現在開設されている部活動]

運 動 部	
野球	卓球
陸上	男子バドミントン
サッカー	女子バドミントン
男子ハンドボール	剣道
女子ハンドボール	弓道
男子バレーボール	男子ソフトテニス
女子バレーボール	女子ソフトテニス
男子バスケットボール	男子テニス
女子バスケットボール	女子テニス
アーチェリー	

文 化 部	
文芸・漫画研究	ESS
吹奏楽	邦楽
合唱	サイエンス
生活科学	弦楽
美術	数理探究
書道	

(注) 中高一貫校の高志高校らしい活発な部活動を維持するために、部活動の統廃合、復活、創設等を進めることを検討しています。



至民中学校出身／陸上部



2年2組
中山 嵩司

私が高志高校を志望した理由は、質の高い教育が保証されていることや、部活動に励めること、そしてなにより探究活動があり自分の興味のあることについて自分なりに追究することができると知ったからです。

高志高校の授業では中学校とは異なり、より深いところまで学ぶようになります。これまで知識として学んできた言葉や現象のメカニズムが分かりやすく理解でき、自分の中で点と点が繋がっていき知見が広がる感じが学習の楽しさをより身近に感じられるようになると思います。

また、私たちの年から、内部進学生と高校入学生との混合クラスが実現されました。カリキュラムの違い等により、このクラス編成が煩わしいものになるのではないかと考えていました。実際にそのクラスで過ごしてみると、内部進学生に驚かされることが多く、学習や学校行事でも良い刺激をもらい、互いに切磋琢磨し合える心強い仲間となり、中高一貫校ならではの良い経験をすることができました。

課題研究活動である「KoA」では、グループで決めたテーマについてメンバーと一緒に仮説、実験、考察と試行錯誤を重ねていながら目的達成を目指していきます。自分達が主体で目的達成を目指すこの活動は、柔軟性や批判的思考力を養う貴重な体験となると思います。

部活動では、私は陸上部に所属しています。少しずつ自分の成長を感じられる楽しさや仲間と情熱を共にしながらひとつのことに向かって絆を深めていく部活動は、学校生活を華々しく彩るかけがえのないものになると思います。技術面だけでなく人間性を磨くことができるのは、やはり部活動の魅力であり特長だと思います。

このように、高志高校は他の高校とはどこか一線を画すような側面を持っていると同時に、自分のパフォーマンスを最大限発揮できる環境が整えられています。ぜひみなさんも、この高志高校で自分自身の可能性を「探究」してみませんか？

高志中学校出身／吹奏楽部



2年6組
田中 志歩

私は、高志高校で充実した日々を送っています。1年次に参加したSSH英語コミュニケーション研修では、県内のALTの先生方を本校にお招きし、グループディスカッションを行いました。英語漬けの時間のおかげで、英語でコミュニケーションをとることに対する積極性や英語をより好きになるきっかけを得ることができました。この他にも、校内外の様々な分野の研修に参加し、学ぶ意義を見出すことができています。

また、高志高校には魅力的な部活動がたくさんあります。私の所属する吹奏楽部は、フェニックス祭で、中高合同バンドや音楽系部活動合同バンドでの演奏を行いました。学年や部活動の枠を超えて仲間とともに音楽を届けられることができる喜びや、ステージから見える観客の笑顔は、日々の練習の苦労など忘れてしまうほど何にも代え難いものでした。

友人や先輩・後輩に刺激され、先生方にも背中を押していただきながら色々なことに挑戦できる学校生活は、入学前に想像していた以上に濃い1日1日を過ごすことができ、自分の価値観を大きく変える出会いや経験が多くあると感じます。

私たちと一緒に、充実した学校生活を送りませんか？皆さんと高志高校で会える日を楽しみにしています。



「探究」と「創造」の学びで 社会を「つくる」・「変える」力を育てます

本校では、独自に開発した授業（学校設定科目）や校外研修、課題研究等を通して「探究的な学び」を重ね、「創造的な思考」を鍛えます。これにより、未来社会の創り手に必要な資質や能力を身につけていきます。



課題研究発表会



R5年度から第V期
「先導的改革型」指定校

文部科学省が指定する**スーパーサイエンスハイスクール**は、国際的に活躍する理数系人材を育成するプロジェクト。高志高校は、令和5年度から「先導的改革型」となり、22年目を迎える県内最長の指定校です。「未来を創造する探究力を備え科学技術イノベーションを担う人材育成システム構築」を研究開発課題として、本校生徒への支援のみならず、本校が開発した教育プログラムを外部へ普及させることも目指しています。



H26～30年度指定

高志高校は、文部科学省から**スーパーグローバルハイスクール**の指定を受け(平成26年～30年)、研究に取り組みました。その成果を生かして、令和3年度から「SGHネットワーク」に参加し、「グローバルな視野で新しい分野に挑戦し、地域社会にイノベーションを起こす人材の育成」を目指して、課題研究や校外研修等に取り組んだり、フォーラムやコンテストに参加したりするなど、様々な取組を行っています。



研究機関での実習



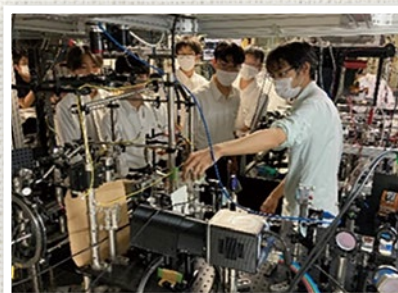
企業等とコラボして商品開発
(写真：福井新聞社提供)



英語コミュニケーション研修



他校生らとディスカッション



大学研究室での研修

課題研究に取り組む生徒たち



3年4組
吉田 幸路
(高志中学校出身)

「空」「車」が好きな私たちの研究テーマは、「自作風洞（ふうどう）を用いた空気の流れの可視化」です。最近、ドローンの設計や車の低燃費化などを行うとき、空気の抵抗によって生じる影響の指標「空力特性」が重視されています。

私たちは、制御できる風を対象物に当て、空気の流れや影響を調べるための実験装置「風洞」を作りました。風速0-20m/s誤差±0.1m/s以下という精度の高い仕上がりです。日々、様々な形状の物の空気の流れを観察実験しています。

同じ目的やテーマで進む仲間との経験は自分の関心事を究めるとともに、議論の仕方、研究の進捗率や管理などは今後も活かせるスキルになると思います。また、やる気次第で数多くの発表の機会をいただけるので、研究したい分野の有識者の方々と知り合えたり、関心を持つ高校生と出会えたりと、さらに刺激的な活動になります。ぜひ、高志高校で同じ興味関心を持つ仲間を見つけて、研究に取り組んでください。



3年6組
竹内 彩
(松岡中学校出身)

私たちは「外国人の日本語学習支援」をテーマに研究を進めています。福井県が調査したデータにより、県在住の外国人に対する日本語学習支援が不十分で、改善余地があると考ため、このテーマを設定しました。その解決のために、留学生や在住外国人労働者の方にインタビューを行って、日本にきた理由や日本語学習で実際に困っていることなどを調査しています。研究を進めていくと、外国人が日本語を学ぶだけでなく、関係する日本人も英語を学ぶべきだと強く感じるようになり、それぞれの学習関係支援態勢の確立に少しでも貢献したいと考えようになりました。

私達のグループは初めのうちはメンバーの意見がまとまらず、研究も滞りがちでしたが、校内や金沢で行われた課題研究発表会に積極的に参加し、大学教授の方々からアドバイスをいただくことで、問題点が明らかになり、研究の方向性が定まりました。改善点はまだまだありますが、現在ではグループで協力し合いながら、よりよい研究のために努力しています。

入学者選抜では、「理数創造科」「人文創造科」を 「探究創造科」として一括募集します

「探究」とは…試行錯誤しながら物事の真の姿を明らかにしようとする事

「創造」とは…新しいものを創ったり問題を解決したりしようとする事

高志高校では、生徒の皆さんに「社会に変化を巻き起こす人」になってもらいたいと考えています。

高志高校の生徒は、校訓「克己・創造・敬愛」のもと、「探究」と「創造」を繰り返し行いながら、未来社会の創り手となるのに必要な資質や力を身につけていきます。

校訓	高志高校で身につけてほしい資質	高志高校で身につけてほしい力
克己	- 自分と向き合い、成長するための努力を続けようとする姿勢 - 困難な中でも肯定的側面を見つけて自分を高めようとする姿勢	- 忍耐力 - 自己調整力 - 内省力 - 回復力
創造	- 新しい価値や文化を生み出そうとする姿勢 - 真理の探究、社会問題の解決に挑み続けようとする姿勢	- 論理的思考力 - 創造的思考力 - 情報活用能力 - 問題解決能力
敬愛	- 他者と協働して、社会が抱える問題を解決しようとする姿勢 - 多様性を理解し、文化の発展、世界の平和に貢献しようとする姿勢	- 協働力 - 交渉力 - 傾聴力 - 対話力

2・3年次には、興味・関心や志望進路に応じて 「理数創造科」「人文創造科」に分かれます

【理数創造科】…数学や理科を中心に多くの専門科目や学校設定科目があります。
理数系の領域で活躍できる人を育てます。

【人文創造科】…国語や社会を中心に多くの専門科目や学校設定科目があります。
人文・社会系の領域で活躍できる人を育てます。

学校への問い合わせ・アクセス



福井県立高志高等学校
〒910-0854 福井市御幸2丁目25-8
TEL : 0776-24-5175
E-mail : info@koshi-h.ed.jp
HP : <http://www.koshi-h.ed.jp/>

- 福井駅から徒歩10分
- すまいるバス東ルート「高志高校前」下車すぐ

